

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 【新】商店街空き店舗対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 商業振興係 電話番号：058-272-1111(内3646)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県内の空き店舗率は平成21年度に6%を超えて以来横ばい、総店舗数も年々減少しており、改善の兆しはない。また県商店街振興組委連合会組合員数や単組数も減少を続けるなど、身近な地域での買い物が困難になりつつある。
- ・一方で、コロナ禍以降、地方移住への関心が高まっており、その傾向は続いていることから、移住者を始めとした新たな職業を求める方に向けたアプローチが有効。

(2) 事業内容

- ・商店街内の空き店舗を調査(貸出条件、建物状況の確認等)し、利活用可能な空き店舗の紹介マップの作成や紹介マップを基にした空き店舗見学会の開催等による希望者とのマッチングなど、商店街が空き店舗対策として取り組む空き店舗の把握や出店希望者等の募集に係る費用を補助する

【対象事業者】

商店街組合、商工会議所、商工会、まちづくり会社等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・補助率 補助対象経費の1/3以内
- ・補助限度額 上限：1,000千円
ただし、市町村から交付を受けた補助額を超えないものとする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	商店街空き店舗対策事業費補助金
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
- ③ 地場産業の活力の強化

(2) 国・他県の状況

- ・埼玉県：地域商業・商店街活動応援事業補助金（空き店舗解消に向けた取組み（物件調査、空き店舗マップ作成等）に対して補助）

(3) 後年度の財政負担

商店街活動の担い手確保は、商業の振興ばかりでなく、まちづくりを進めていく上でも重要であるが、短期的な解決は困難であり、継続した取組みが必要

(4) 事業主体及びその妥当性

商店街の活性化を目的としていることから、商店街地域の団体（商店街組合、まちづくり会社など）を、補助事業者とする。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	商店街空き店舗対策事業費補助金
補助事業者 (団体)	商店街組合、商工会議所、商工会等 (理由) 商店街 (まち) の活動を担う人材を確保し、地域住民の生活を支える商店街の経済活動を維持する。
補助事業の概要	(目的) 空き店舗の解消 (内容) 空き店舗貸し出し条件の把握、空き店舗紹介マップ作成、空き店舗見学会の開催等出店希望者とのマッチング
補助率・補助単価等	定率 (内容) 補助対象経費の 1 / 3 (理由) 市町村から同額以上の支援を条件とするため。
補助効果	商店の確保と商店街活動を担う人材の確保
終期の設定	終期 令和 7 年度 (理由) 予算要求上、令和 7 年度を終期と定めた。

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 買い物弱者の買物機会増 商店街来訪者数増

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
総店舗数	4,641	4773	—	4,525	4,346	

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標： <u>40件</u> 実績： <u>40件</u> 達成率： <u>100</u> %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標： <u> </u> 実績： <u> </u> 達成率： <u> </u> %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： <u> </u> 実績： <u> </u> 達成率： <u> </u> %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 組合員の減少等による商店街組織の解散など組合は減少しており、空き店舗対策をはじめとする商店街対策を担う側が減少している。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 空き店舗の増加は地域経済活動を始めとする地域の衰退につながるものである一方、短期間で解決することは困難であり、継続的な支援が必要。
